

広報 五所川原市

発行 五所川原市

〒037

青森県五所川原市字岩木町12

☎0173-35 2111(代)

編集 総務部秘書企画課

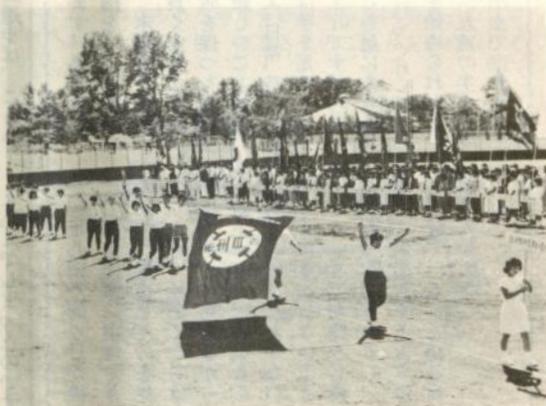
印刷 ㈱西北印刷

市の人口 総数52,358人 (男25,272・女27,086) 世帯数14,724 (8月31日現在)

(毎月2回 1日・15日発行)

第34回県青年大会

—本市を主会場に—



「若人よ風になれノ流れる汗よ土になれノ永遠に輝け北斗の里にノ」をスローガンに、第三十四回県青年大会が九月十四、十五日の両日、本市を主会場に県内から約二千人が参加して開かれました。

初日の十四日は、菊ヶ丘運動公園で開会式が行われました。

五一中バンドが演奏するマーチで選手団入場後、市青協の外崎真人さん、工藤徳子さん両人が共に掲げ持つ聖火が入場し、聖火台に点火。

高木知巳県連合青年団長が「日頃の青年活動の集約の場として、県下の仲間が友情と連帯感を深めてください」とあいさつ。県知事代理の藤川直迪県出納長、本間茂夫県教育長、県議会議長代理の成田守県議、津川武一衆議院議員がそれぞれ祝辞を述べました。

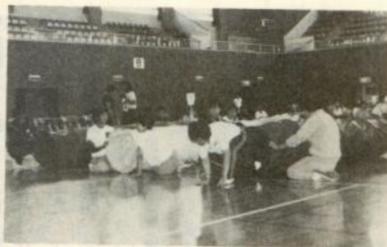
引き続き森田市長が「本大会を契機として、活力ある青年団活動の伸長に、また明日の地域社会の発展に向けて友情の輪を拡げ、互いの連帯感を強めてください」と歓迎の言葉を述べました。

最後に出場選手を代表して、市青協の太田久光さんが力強く選手宣誓をし開会式を終りました。

第12回東北総合体育大会(ミニ国体)

「伸びよ若人爽かに みちのくに集いミニ国体」をスローガンに、第12回東北総合体育大会(ミニ国体)が県内7市11町を会場に開幕。

本市では9月7日から2日間、市民体育館で延べ約330人が参加し空手道競技が行われ、気合のこもった熱戦が展開されました。



愛の輪レクリエーション大会

精薄児(者)とその家族、ボランティアなど約二五〇人が一堂につどい九月五日、市民体育館で「愛の輪レクリエーション大会」が開かれました。

これは市社協、手をつなぐ親の会、県社協が主催したもので、精薄児(者)がお互いに親睦を深め自らの活動意欲を育てるとともに、社会に融和することをねらいとしたものです。

また、この日は福祉協力の指定を受けている五所川原第一高のJRC(岡崎まるみ顧問)の部員十一人や五所川原第四中の生徒会役員五人も、大会の進行に協力されました。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和60年

No.600

10-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- 心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- 自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- 平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- 未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。後できつとお役に立ちます。

40歳からの健康週間

老後への備え 健康も忘れずに

健康は自分で手に入れるもの

運動しないと生きていけない

十月十日は「体育の日」、またこの日から十六日までの一週間は「四十歳からの健康週間」です。昨年からは健康づくりと成人病予防のための週間です。老後の準備は四十代からといわれますが、これは経済面に限ったことでもありません。健康についても、老後の備えが必要ですが、かけがえない財産である健康を失わないようにしましう。

人間は動物ですから、動いているのが本来の姿です。食べ物を得る、水をくむ、ほんの数十年前まで、こういったことに対して今よりも、体を動かしていたはず。ところが、人間はこれらの作業をつらいこと、嫌なことと感じてきたよう。科学技術の進歩は、こうい

った労働から逃れようとした努力の積み重ね、と言っても言い過ぎではありません。楽をしたい、体を動かしたくない……。その結果、蛇口をひねれば水が得られ、スイッチ一つで火が起るといった具合に、繰り返し行う労働から逃れたり、つらい労働にかかわる時間を短縮することに成功しました。しかし、その一方で「運動不足」という大問題を抱え込んでしまったのです。

足心道を実行

対馬さんは、十年程前から「足心道」を実行し



吹畑字藤巻130-13 対馬てるさん72

ています。年をとると足から衰え

るといいます。足心道は手・足の指を一本一本もみほぐし、末端までの血液循環を良くすることに よって健康を保つもの。「何も難しいことはないんですよ。日常、時間をみつけては手・足の指をもみほぐすんです。内臓の異常なども足にあらわれるから、じつくりと……」

足心道を始められたきっかけは、友達の主人がくも膜下出血で倒れたの

宇宙飛行最大の危険は運動不足

運動不足——その際立つた例は、病気で寝ている人を別にすると、宇宙飛行士でしょう。彼らは狭い宇宙船内、しかも無重力状態という足腰の負担がほとんどない環境で、何日間あるいは何週間か過ごさなければなりません。

宇宙飛行で最大の危険は、体重ゼロという状態に人体が慣れ切ってしまうこと、といわれています。こういう状態では、重力の負担がかららない足腰の筋肉に血が流れにくくなってしま

のです。使わない自転車のハンドルやギアに油が通わなくなつたことを思い浮かべてください。放っておくと動かなくなってしまうはず。これを防ぐためには、絶えず動かしてやらなければなりません。一九七八年に「サリュート六号」で百四十日間の宇宙滞在をしたソ連の宇宙飛行士の例で言え

ば、午前八時起床、午後十一時就寝という日課の中で、毎日二〜三時間はランニング・ロード（ベルトコンベ

銃剣道で健康づくり

材木店を営む高橋さんは、二十歳の時軍隊で習った銃剣道（当時は銃剣



田町177 高橋賢作さん(69)

術といった)を現在も続けています。「少年時代は、むしろ陸上競技や体操が得意だった」という高橋さんは、入隊後に選ばれて陸軍戸山学校に入校。そこで半

アの上で走る)や車輪のない自転車を使った運動に割り当てられていた、という記録があります。また、アメリカ合衆国の宇宙船、スペースシャトルでも、ランニング・ロードを使った運動時間が設けられています。

年間、銃剣道と体操をみっちり教えられた。終戦後は銃剣道からしばらく離れたが、再び始めてからは全国大会に代表として出場するなど、実力を十二分に発揮。現在は教士八段の腕前。また、六年前からは工藤常四郎さん（小曲）と共に、少年を対象とした銃剣道教室を開くなど、後進の指導にも大変熱心です。「銃剣道をやっているときは、精神的に気合いが入る。それと仕事を大事にする。これが健康にいいんですよ」と語る高橋さんです。

の出る電子レンジ……。わたし達の生活空間は以前にも増して、宇宙船に近づいています。そして、自動車やエレベーターなどの利用によって負担が軽減されたわたし達の足腰は、無重力状態と同じ「ぬるま湯」に浸されています。わたし達にも、宇宙飛行士を見習って日課に運動時間を組み入れなければならぬときがやってきた、といえるでしょう。

運動時間を日課に入れよう

マイコンが温度調節するエアコンデিশヨナー、声

老人保健事業をご利用ください

健康を毎日を送るには、日ごころの健康管理がものをいいます。ジョギング、冷水まざつ、栄養のバランスに注意する。みなさんにも自分なりの健康法があるでしょう。さらにその効果を上げるために、一度専門家のアドバイスを受けてみてはいかがでしょうか。

業を行っています。
 へ老人保健事業による健康管理

★健康手帳の交付

血圧測定、健康管理、がん検診などの記録のほか、成人病の予防や健康生活を送るための知識などを盛り込んだ手帳を希望者に無料で差し上げます。(ただし、四〇〜六九歳までの人)

★健康診査

成人病の予防や早期発見のため、別表の診査を行っています。

いずれも四〇歳以上の人が対象ですが、子宮がん検診は三〇歳からでも受けら

れます。
 ★健康相談(四〇歳以上の人)

体ばかりでなく心の健康についても相談に応じ、必要な指導・助言を行っています。(日程などは市広報に掲載します)

★健康教育(四〇歳以上の人)

①健康を保持増進するための日常生活の心得 ②健康診査の受診など定期的に講じる健康対策 ③治療を受けるときの心得—などをテーマにした講演会を行っています。(日程などは市広報に掲載します)

テニスを始めて50年



太刀打字千束 刈14-15 外崎美知雄さん74

外崎さんは、金木町出身で中学校では太宰治と

同級生、テニスは中学三年から始めた。五人兄弟の三番目で、兄弟全員がテニスをやり、それだけ

で2ペアを組むことができた。

小・中・高校の教員時代は、県内各地で社会人テニス大会に参加。テニス歴は五十年を超えている。

「先生だけやっている」と、精神的にまいってしまふことがある。テニスをやることによって、精神的にリラックスできたし、いろんな人と幅広くつき合いができた。学問はタテ型思考だが、スポ

ーツは水平思考です。スポーツをやることによ

つて、人生観が広がるんだね。私は、子ども達には「点数だけにこだわらな。クヨクヨしないで幅広く生きろ」と教えてきた」

外崎さんはこのように語っていました。また、外崎さんは五年前から毎週一回、市民体育館でテニス教室の講師を務め、若い人達の指導にあたっています。

薬草などで健康づくり



中平井町80 岡田常四郎さん62

た薬草などで健康づくりをしています。

岡田さんは、大工仕事のかたわら自分で採取し

昭和十六年に岡田さんは、第八師団(弘前)の倉庫建設のために徴用されました。そこで一週間働いている間に、当時の弘前市の厚生課長から卵油の作り方やいろんな薬草の効能、使い方を教えてもらいました。

役立ててきました。「キササゲの実の芯」がじん臓病に良いとか、「赤トンボをかげ干にしたものの粉末」が扁桃腺炎に効くなど岡田さんの話とはとまるところを知らない。最後に一言「健康は、自分で手に入れるもんだよ」と岡田さんは語っていました。

★機能訓練

脳卒中などの後遺症、骨・関節の病気やケガ、老化などのためからだを動かすのが不自由な人は、無料で青山荘(金山)で通所による機能訓練を受けることができます。

★訪問指導

四〇歳以上の人で、家庭で寝たきりの状態または、寝たきりに近い状態の人は、療養や看護の方法、機能訓練について、無料で指導が受けられます。

健康診査の内容

一般診査 (受診者全員) ● 問診 ● 理学的検査 (聴打診など一般的な診察) ● 血圧 ● 検尿 (タンパク、糖の検査、潜血)
精密検査 (一般診査受診者のうち、精密検査が必要と認められた人が対象)
胃がん検診
子宮がん検診

老人保健事業についてのくわしいことは、市衛生課(☎35)二二二番内線二六八・二七二番)へどうぞ。

休日・夜間の急病は
 在宅医師の紹介は消防署(☎35)二〇一九番)へ(救急医療部会)

栄地区が指定受ける

自治省 コミュニティ推進地区

栄地区が九月十日、自治省から六十年度のコミュニティ推進地区として指定を受けました。

コミュニティ推進地区の指定は、都市や都市周辺部などでの地域交流を深め、住みよいまちづくりを活発化させるのがねらいで、五

十八年度にスタートし、本年度で指定作業を終えます。本県では、五十八年度に青森市、五十九年度に八戸市が指定を受け、栄地区は三番目の指定です。

栄地区は、地域住民のまとまりを図るため、コミュニティ活動が年々高まり、

地区広報の発行や各種サークル活動を通じた活発な地域交流が認められたもの。

自治省では、それに要する経費の一部を特別交付税などで措置する予定ですが市では、今後地区住民協議会と連絡をとりながら取り組んでいく考えです。

市税納期内完納 45人を表彰

昭和五十九年度の市税納期内完納者の表彰式を九月十日、市民文化会館で行いました。



式辞を述べる森田市長

表彰式には被表彰者、各納貯組合長など合わせて約百名が出席。森田市長が「皆さんの努力に感謝を申し上げますとともに、税を効率的に運用し、五所川原市の二十一世紀への展望を確立してまいります」と式辞を述べ、被表彰者に表彰状と記念品を贈りました。

引き続き照井俊弘五所川原税務署長、宮本正則五所川原県税事務所長、村上純一納貯組合連合会長がそれぞれ祝辞を述べました。

その後、受賞者を代表して下岩崎の田辺洋三さんが、「今後とも納税の義務を果たし、市勢の発展に協力していきたい」と謝辞を述べ、表彰式を終わりました。

なお、この市税納期内完納表彰制度は、五十九年度分限りで終りになります。

自衛官募集相談員を委嘱

自衛官を志望する人との相談などを行う「自衛官募集相談員」の委嘱状交付を九月三日、市長公室で行いました。

相談員に委嘱された人は次のとおりです。

原三郎(飯詰)、佐々木善吉(中泉)、長尾光雄(元町)、長尾芳彦(松野木)、戸裕一(稲実)、川浪勝栄(藻川)、阿部昭三(原子)、秋田光則(川山)

(敬称略)



委嘱状を交付する森田市長

荒関建築工務所に感謝状

市は九月四日、太刀打の荒関建築工務所(荒関重造代表)に感謝状を贈りました。



森田市長から感謝状を受ける荒関さん

荒関さんは去る九月一日、台風十三号の暴風によって、みどり町の一部の市営住宅(中層四階建て)の屋根がはがれているのを、たまたま同町で作業中に発見。荒関さんは、同工務所の従業員など数名と共に屋上に上がり、身の危険をかえりみず鋼板の撤去など応急措置をとり、被害を最小限に食い止めたものです。

荒関さんは、「当然のことをしたままで、感謝状をもらって恐縮しています」と語っていました。

全 国 防 犯 運 動

- 期 間 10月11日~20日までの10日間
- 運動の目標 1. 侵入盗の防止 2. 暴力・覚せい剤の追放

暴力、迷惑行為をなくするため、小さな暴力でもすぐ110番へ

五所川原市 五所川原地区防犯協会 五所川原警察署



森田市長から顕彰されるお年寄り達

市老人福祉大会開かれる

市、市社協、市老連が共催する昭和60年度市老人福祉大会が9月20日、市民文化会館で75歳以上のお年寄り約1,300人を招いて開かれ、長寿と健康を祝いました。

大会では、平山誠敏市社会福祉協議会長の開会のあいさつに引き続き、森田市長が「皆さんには、人生の大先輩として市発展のために、今後ともご助言ご指導をお願いします」と式辞を述べました。

次いで、95歳以上の人9人と米寿を迎えた人34人に、森田市長が顕彰状と記念品として座ぶとんを贈りました。また、寝たきりのお年寄りを長年にわたって介護されてきた鳥森の高橋さん達5人や優良単位老人クラブ10団体に表彰状と記念品を贈りました。

さらに、この日は県老人福祉大会での顕彰状なども伝達されました。

市社協に30万円寄付 —大和山連合青年会—

松緑神道大和山連合青年会(田沢豊弘幹事長)では9月8日、社会福祉に役立ててくださいと市社会福祉協議会に30万円を寄付されました。

これは、同連合青年会が9月7日から2日間にわたって、市庁舎前お祭り広場で開催したチャリティバザーの益金の一部を寄付されたものです。

大和山バザーのテーブルカット



ほ場整備完工式典挙行 —小田川土改区—

毘沙門地区県営ほ場整備事業の完工式典が9月13日、毘沙門・長富コミュニティセンターで関係者約200人が出席して行われました。

同事業は昭和54年度着工以来、約7年の歳月と20億円余の事業費が投じられ、このほど完成したものです。

式典では、原田一実小田川土改区理事長が「工事の完成と共に、これまで築かれた協力体制を今後の維持管理と営農改善に役立てていきたい」と式辞を述べました。

その後森田市長が、「近代的な基盤が完成した今日の慶びを明日の生産への活力とし、近代化農業を振興されるよう期待します」と祝辞を述べました。

同土改区では、この式典に先立ち「記念誌」の発行と「記念碑」の除幕式を行いました。

○市長顕彰者(95歳以上長寿者9人)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 浅利 サタ(川端町) | 加藤 かよ(稲実) | 安田 ツナ(田川) |
| 対馬 いさ(米田) | 佐々木たみ(鎌谷町) | 長尾竹太郎(福山) |
| 平山 あ江(本町) | 小野 よし(金山) | 三浦竹次郎(元町) |

(88歳に達した長寿者34人)

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 原 吉五郎(田町) | 伝法谷そだ(不魚住) | 工藤 はる(元町) |
| 奥谷 みさ(鎌谷町) | 工藤 みわ(鎌谷町) | 神 吉太郎(新町) |
| 飛島 真吉(新町) | 葛西 きよ(本町) | 江渡 哲哉(旭町) |
| 平川 ふゆ(上平井町) | 成田 ふて(小曲) | 澤田 ちな(小曲) |
| 塚谷 タカ(松島町) | 笠井 甚作(松島町) | 小笠原謙吉(前田野目) |
| 岩川 きみ(金山) | 三浦 かし(金山) | 工藤 やす(金山) |
| 工藤 とす(米田) | 塚本喜一郎(漆川) | 山内 はる(一野坪) |
| 川村 ハル(飯詰) | 北村 ヲナ(飯詰) | 三浦 とよ(高瀬) |
| 成田文太郎(藻川) | 杉山 こと(毘沙門) | 其田 シワ(長富) |
| 土岐 新逸(神山) | 鱈田 春弥(田川) | 館山 きぬ(川山) |
| 松本平太郎(新宮) | 一戸 さと(広田) | 鈴木 きわ(広田) |
| 石崎 石松(梅田) | | |

○市長表彰者(寝たきり老人介護者5人)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 高橋 やえ(鳥森) | 福士 貞子(梅田) | 木村さくら(梅田) |
| 山形 てる(松島町) | 伝法谷ミチ(不魚住) | |

○市・市社教・市老連表彰老人クラブ役員

江良直義(栄町日光会)、新谷志郎(前田野目第二長寿会)、山田善孝(稲実高砂会)、前田かおる(梅田米寿会)、横島貞吉(福岡福寿会)、野呂トコ(金山長楽会)、伊藤喜三郎(原子第二松竹会)、松野米作(神山高砂会)、開米忠造(上鶴ヶ岡鶴寿会)、一戸金太郎(藻川第一白寿会)

○県老人福祉大会顕彰表彰者(伝達)

(100歳以上の長寿者) 浅利 サタ(川端町)

(90歳に達した長寿者)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 山田 そと(下平井町) | 下山 ヒサ(新宮町) | 小栗山はる(小曲) |
| 三浦 みよ(小曲) | 澤田 いそ(前田野目) | 斎藤 清吉(前田野目) |
| 中村 とし(川端町) | 奈良 タノ(姥菴) | 横嶋 なお(金山) |
| 寺田 みや(石岡) | 石岡 ふみ(石岡) | 高橋 そよ(長橋) |
| 笠井 きよ(神飯詰) | 長尾さくら(鶴ヶ岡) | 開米貞次郎(鶴ヶ岡) |
| 川浪 きよ(藻川) | 加藤 文蔵(藻川) | 福岡 たけ(毘沙門) |
| 石岡 ちよ(野里) | 小田桐佐之助(神山) | 長内 いそ(松野木) |
| 三上 たけ(俵元) | 雨森 ミエ(原子) | 福士武四郎(高野) |

(老人福祉関係)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 藤 田 米三郎(柏原町柏生会) | 平 山 国太郎(新町長笑会) |
| 川 村 篤代(田町日光会) | 藤田 藤太郎(姥菴桜木会) |

(以上敬称略)

新 受 入 図 書 市立図書館			
書 名	著 者 名	書 名	著 者 名
日本分県地図地名総覧 (60年版)	人文社 編集部	猫目石 海軍ごぼれ話	栗本 薫 阿川 弘之
日本の白書(60年版)	日本情報 教育研究会編	昭和ヒトケタの遺恨	井出 孫六
日本の歴代市長	歴代知事 編纂会	顔の本	香原 志勢
千年檜の下に	扇谷 正造	原色樹木大図鑑	林 弥栄
ボケの周辺	早川 一光	東北の作家たち	福武書店
押味滋味	藤井 宗哲	女たちのロマネスク	前田 愛
読書で育つ子供のやる気	橋詰 淳子	かってヒーローがいた	武蔵野次郎
もっと素直に生きてみないか	加藤 謙三	ふぞろいの林檎たち	山田 太一
逆境に勝つ	河野 守宏	十二宮の夜	赤江 謙
東北文化と日本	梅原 猛	男たちの伝説	落合 信彦
北天の魅	菊池 敬一	終の橋	小野 東
相続贈与の法律相談	東京南部 法律事務所	舞へ舞へ蝸牛	大庭みな子
魅力の転換社債投資法	足立 真一	奇妙な惑星	佐江 衆一
老後の暮らしの百科	岡村 重夫	廻んでる十兵衛	佐々木隆三
子どもに愛が伝わっていますか	近藤 千恵	私小説	瀬戸内晴美
袖すりあうも嫁姑	小林千登勢	ぼくちんは萌黄色	芥沢 博文
専修学校40選(東京編)	時事通信社	女ぶり	平岩 弓枝
法政大学通信教育文庫	法政大学 通信部	教え子の娘	三好 京三
危機のコスモロジー	石森 秀三	叫ぶ私	森 瑤子
バイオの挑戦	軽部 征夫		

みんなの健康教室へどうぞ

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。お気軽においで下さい。
 今回のテーマは「上手な病気のつきあい方と上手な医師とのつきあい方」です。
 ▷日時 10月25日(金) 午後1時
 ▷場所 市保健センター
 ▷講師 江渡淳治先生(公立金木病院副院長)
 主催 北五医師会 市民保健協議会

三種混合百日咳、ジフテリア、破傷風 ワクチン接種

▷対象幼児 昭和56年10月1日から58年9月30日までに生まれた幼児。ただし、生後48ヶ月を経過した幼児は接種できません。
 2期は、1期終了後12ヶ月を経過した幼児で、12月に接種することになります。
 なお、2期分については、昨年1期終了した幼児に限り48ヶ月以上でも接種できます。
 お問い合わせは、市衛生課(☎352111番 内線268・272番)へどうぞ。

地区名	実施場所	受付時間	1回目	2回目	3回目
本町・布屋町・弥生町・東町・大町・旭町・敷島町・糺田・上平井町・中平井町・下平井町・幾世森・寺町・柏原町・錦町・幾島町・末広町・新宮町・芭蕉・毘沙門地区	市保健センター	午後1時 1時30分	10月23日(木)	11月13日(木)	12月6日(金)
栄町・田町・蓮沼・不魚住・元町・鎌谷町・鳥森・下り枝八重菊・一ツ谷・新町・柳町・岩木町・川端町・小曲・新宮長橋橋元・湊団地・若葉・三好地区	〃	〃	10月24日(木)	11月14日(木)	12月11日(木)
松島地区町	〃	〃	10月25日(金)	11月15日(金)	12月12日(木)
みどり町区	〃	〃	10月29日(火)	11月20日(木)	12月13日(金)
栄長橋地区	〃	〃	10月30日(水)	11月22日(木)	12月18日(木)
飯詰・梅沢・七和地区	〃	〃	10月31日(木)	11月27日(木)	12月20日(金)

第二回五所川原マラソン大会開催

- ▷日時 十月十三日(日) 午前九時集合(時間厳守)
- ▷場所 北斗グラウンド
- ▷参加者 五所川原市民に限り(小学生五年生以上)
- ▷申し込み締切 十月十一日(金)
- ▷区分・距離 小学校五・六年生 男女 共一キロメートル 中学校男女、高校、一般女子 三キロメートル 高校、一般男子 六キロメートル
- ▷参加料 無料
- ▷表彰 上位入賞者
- ▷申し込み先 市教育委員会社会教育課(当課備え付けの用紙に記入のうえお申し込みください。☎352111番 内線二四八番)
- ▷その他 ゼッケンは当日配布。大会中の事故などは参加者の責任とします。主催 市教育委員会 後援 五所川原ロータリークラブ 五所川原中央ロータリークラブ

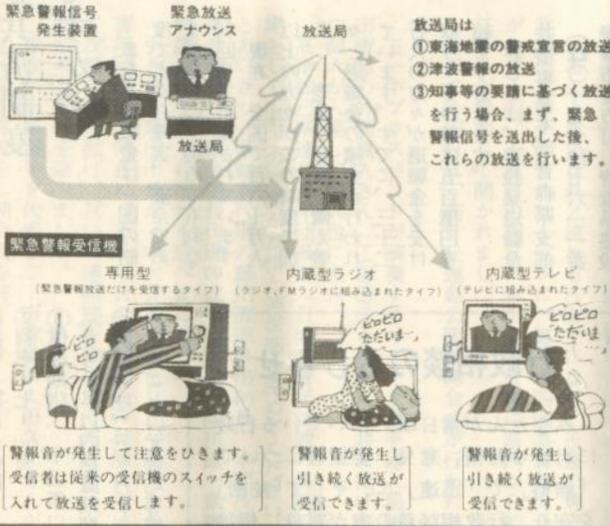
第32回NHK青年の主張全国コンクール 青森県大会開催

▷期日 11月10日(日) NHK青森放送局 全国大会 昭和61年1月15日(成人の日)NHKホール
 ▷参加資格 現在青森県に住み、昭和35年1月16日から昭和45年4月1日までに生まれた方(15歳~25歳)に限りますが、性別、職業、学歴および国籍は問いません。
 ▷参加申し込み 出場希望の方は、5分以内に発表が終るようまとめた原稿(400字詰め原稿用紙で4枚程度)を10月18日(金)(当日消印有効)までに、〒030 青森市松原2-1-1 NHK青森放送局「青年の主張」係あてお送りください。
 詳しくは、NHK青森放送局「青年の主張」係へお問い合わせください。(☎017735111番 内線227番)

緊急警報放送システム

9月1日から全国一斉にスタート

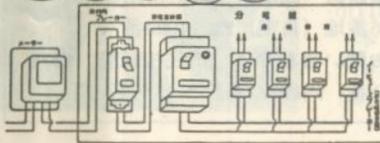
真夜中、寝ている時に突然大地震や津波が襲ってきたら……。だれにとってもたえずつきまとう不安です。そんな時、テレビとラジオを通じて住民に一刻も早く警報を伝えようというのが緊急警報放送です。



○問い合わせ NHK青森放送局 ☎0177 ⑦4 5111番
弘前放送局 ☎0172 ③2 5411番



電気器具を同時に使うと
ブレーカーがさがりませんか？



こんなときには、契約アンペアを大きくしますと安心して電気を使うことができますので、この機会にお申し込みをお願いいたします。

お申し込みは

お近くの東北電力各事業所窓口へ次の内容を確認し、お電話でお申し込みくださるようお願いいたします。

1. お客さまのお名前とご契約番号(「使用電力量のお知らせ」参照)
 2. ご希望のアンペア
 3. お客さまの電気を引き込みされている電柱番号
- ブレーカーだけの取替は無料です。
 - 電気料金は基本料金のみ変わります。
 - 工事が伴う場合はお客さま負担となります。

・1ヶ月の基本料金

10アンペア	15アンペア	20アンペア	30アンペア	40アンペア	50アンペア	60アンペア
300円	450円	600円	900円	1,200円	1,500円	1,800円

(例) 15アンペアから20アンペアに変更の場合わずか150円の増
20アンペアから30アンペアに変更の場合わずか300円の増
電気についてのご相談は、お近くの東北電力をご利用ください。

五所川原営業所 ☎ ③5 2151番

赤い羽根は、 愛と希望のシンボルです

みんなで赤い羽根

●赤い羽根共同募金運動は、今年で39回目を迎えました。今年も10月1日から12月31日まで、全国で共同募金運動が展開されます。

お年寄りやからだの不自由な方、周囲の人々の助けや思いやりを必要としている方に、明るい毎日を送っていただけるように、赤い羽根は、募金活動を続けています。

「わかちあう幸せー赤い羽根共同募金」のスローガンのもとに、みなさまのご協力をお待ちしております。



自衛官募集

くわしいことは、青森地方連絡部五所川原募集事務所(☎③52305番)へどうぞ。

募集種目	募集人員	応募資格	受付期間
2等陸・海・空士(男)	青森県 約420名	18歳以上 25歳未満	高卒見込者 9月21日 以降
防衛大学校学生	全国 約500名	高卒(見込) 21歳未満	10月1日 10月26日
防衛医科大学校学生	全国 約80名	高卒(見込) 21歳未満	同上
看護学生(女子)	全国 陸約105名	高卒(見込) 22歳未満	10月1日 11月12日



建設業退職金共済制度

を「ご存じ」ですか?

この制度は、昭和三十三年に中小企業退職金共済法によって国がつくった制度です。

また、退職金は、国の制度ですから確実、安全であるとともに、極めて有利な利回りで計算されています。

この制度の特色は、一般の退職金のように一事業所をやめた時支払われる退職金でなく、建設業という一つの業種の中で働く間は、全国どこの事業所で働いた場合でも事業主が掛金を出し合い、現場で働く方々が建設業に従事しなくなったとき、各事業主に雇用された期間全部を通算して退職金を支払うという、いわば建設業界ぐるみの退職金制度です。

詳しくは、建設業退職金共済事業本部青森県支部(☎〇一七七〇七六一一)青森市安方町 青森県建設会館内)へどうぞ。

融資のご案内

建設業にたずさわる皆さんへ

建設事業主等が福利厚生施設を設置(購入)する場合

に加入している法人格を有する事業主団体

合建設業退職金共済事業本部では、資金を融資して

▼融資対象施設

▼融資対象者

労働者住宅、保健施設、給食施設、教養文化施設

▼貸付条件

①限度額、施設の設置等に必要資金の七〇%で労働者住宅五千万円その他の施設三千万円、事業主団体が

②構成員(事業主)の過半数が建設業退職金共済制度

加入している事業主

設置する施設一億円
②利率 七・一%
③償還期限、十五年以内(うち一年以内据置期間)
④償還方法、三ヶ月または六ヶ月ごとの元金均等償還
お問い合わせは、建設業退職金共済事業本部融資室(〒一〇五、東京都港区芝公園一〜七、六中退金ビル七階 ☎〇三(四三六)〇一五(一)番代)へ

行政相談のおしらせ

みなさんが平日頃いただいている行政に対する苦情、意見、要望等について「無料」で「迅速」に、そして「秘密」を守り、行政相談員の方が親身に相談に応じます。お気軽においでください。

▶期間 10月13日(日)~19日(土) 午前8時30分~午後4時
▶相談場所 市役所市民相談室 日曜、土曜日は自宅に相談に応じます。
▶相談員 成田栄一、五所川原市字本町36番地(自宅) ☎354023番
▶お問い合わせは 市民相談室(☎352111番 内線282番)へどうぞ。

短歌

夜の海に御霊を送る灯ろうのゆらぐ灯影に夫の顔
ち来る 浜山 てる
咲き競えやがて散るらむ花菖蒲小川を染めて映る
紫 蝦名 ちよの

枝に垂るる赤き花茄子めづらしく冬こもり居の慰
めに買ふ 番場 允 映
笛大鼓音の響きを先立てて幽玄豪壮な燈ろ迫り来
朝先のひくく差し来るわが庭の柿の実落ちる頃と
なりたり 浜田 ちか

五所川原短歌会

広田保育園 入所案内



市では、今年十一月一日から広田保育園(定員四十五人)に入所を希望する児童の入所申請受付と保護者に対する面接調査を次のとおり行います。

▼期間 十月七日~十二日

▼提出先 市福祉事務所 児童係(入所申請用紙は、当所と広田保育園にありませう)

▼面接調査

▼日時 十月十七日(木) 午前九時三十分~十二時

▼場所 コミュニティセンターさかえ

※面接には、健康保険証(家族全員の)を必ずご持参ください。

対象児童 母親が次の①~⑥の状況にあり、家庭内で誰からも保育してもらえない児童(就学前の乳幼児)

①母親が昼間家庭の外で仕事をしている。
②母親が昼間家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をしている。
③死亡、行方不明等の理由により母親が家庭にいない。
④母親が出産、病気、心身障害等で保育できない。
⑤母親が病人や障害者の看護をしなければならぬので保育できない。
⑥家庭の災害(火災・風水害等)復旧の間保育できない。

詳しいことについては、市福祉事務所児童係(☎352111番 内線二四三番)へお問い合わせください。

みんなで守ろう
納税期日
10月31日
市県民税第3期の納期限です。
ふだんから税に暮らした設計

対象児童 母親が次の①~⑥の状況にあり、家庭内で誰からも保育してもらえない児童(就学前の乳幼児)